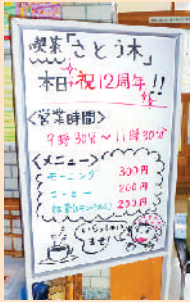


活動紹介

12周年を迎えた「喫茶さとう木」



「喫茶さとう木」は精神保健福祉事業の活動として毎月第1・3火曜日、保健福祉センターの2階で実施している喫茶店です。精神保健ボランティアの協力を得て、当事者が主体となって作業を行っています。

平成11年に保健福祉センター2階に精神保健作業室が作られ、喫茶店を試行的に実施したところ、自分たちの活動で収入を得たことが喜びとなり、「喫茶店は楽しい!」という思いから「喫茶さとう木」が始まりました。

「喫茶さとう木」は、今年2月で12周年を迎えました。当事者やボランティアからは「こんなに長く続けるとは思わなかった」、「今後も続けていきたい」という声もあり、仲間たちと協力し合っ



精神疾患を抱えている方々は、病気による身体的、精神的な苦しさに加えて、病気に対する無理解、偏見などによる社会的な暮らしづらさも抱えています。社会的な障がいを無くしていくには、サービスの拡充だけでなく、さとう木のボランティアのような、草の根の理解者を増やしていくことが大切です。

皆さんも、営業日に役場近くへお越しの際は、ぜひ「喫茶さとう木」をご利用ください。お待ちしております。

(本庁 健康福祉課 保健衛生係)

【営業時間】

毎週第1・3火曜日 9:30~11:30
(祝祭日は休み)

【場所】

保健福祉センター
2階(大方庁舎前)



1月19日、カツオ一本釣りが第1陣が佐賀漁港を出港しました。昨年は、震災や原発事故の影響が心配されましたが、例年以上の水揚げができました。今年も、操業の安全と大漁を鹿島神社に祈願し、小笠原諸島付近の漁場へ出港。



たくさんの家族や関係者に見送られて佐賀漁港を出港するカツオ一本釣りが船。

今年も大漁!カツオ船団出港

これから11月下旬までカツオの群れを追いかけて日本近海で操業します。
活餌事業で水揚げ増大
佐賀漁港では、平成22年1月より高知県産業振興計画「カツオ一本釣り用活餌(生きイワシ)供給事業」に、高知県漁協佐賀統括支所が取り組んでいます。カツオ船が出港時に活餌を積み込んで直接漁場へ向かうことが出来るため、移動にかかる燃油や時間の効率化にあわせ、佐賀漁港への水揚げの増大が図られています。



2月5日、保健福祉支援センター「こぶし」にて、「第15回元気いきいき町民の集い」が開催され、約100人が参加しました。
「いきいき長寿賞(在宅で自立して生活している今年度90歳になられた方)」の対象者は12人で、うち9人が授賞式に参加。町長から表彰状と記念品の授与があり、授賞者の元気な姿は町民の目指す目標となりました。授賞者の皆さん、おめでとうございました。
また、講師に京都大学非常勤講師の岡本香代子さんをお招きし、「正しい歩き方で健康長寿を!」という演題で講演していただきました。



〈立ち方のポイント〉

- ①背筋を伸ばしてあごを引く。
- ②お腹・おしりに力を入れる。
- ③膝と太もも内側を引き締める。

〈歩き方のポイント〉

- ①いつもより速く歩く。
- ②少し大股で歩く。
- ③腕を大きく振って歩く。

した。実際に老化予防になる姿勢や歩き方の指導などが行われ、日常生活で少し意識して努力することで、何歳になっても自分の力で歩けることがわかる内容でした。多数の参加者から「大変良いお話と実技指導で、今日は本当に参加して良かった」「明日から実践して生活したい」との声が聞かれました。